

本に興味はなかった。あまり読んでもこなかった。
世の中にはつまらない本だってあるかもしれない。

でも……この本はおもしろい！

高校生書評合戦 ビブリオバトル 東京都大会

2022年10月30日(日) 9:00～16:45

「おもしろいから読んでみて！」とアピールし、「おもしろそうだ。読んでみたい！」と思わせたら勝ち。それが書評合戦(ビブリオバトル)というゲームです。

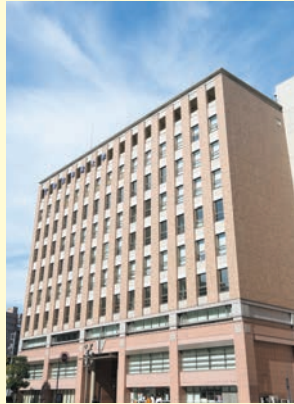
チャンプ本、準チャンプ本に選ばれた2名は、東京都代表として全国大会への出場権を手に入れます。アクリル板やマスク越しでも「読んでほしい！」という熱意を伝え、出場者=バトラー124名の頂点に立つのは誰で、どの本でしょうか？

会場

帝京平成大学の池袋キャンパスで8教室に分かれて予選(124名)→準決勝(24名)が、沖永記念ホールで決勝(6名)が行われました。



沖永記念ホール(約1,000席のキャパシティ)



講演会 小説家・額賀 滯氏

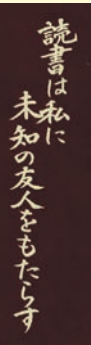
投票



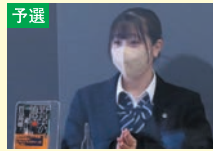
小学校の図書室でたまたま手に取った『ハリー・ポッター』から大人になって読み直し中の高校教科書まで、「読んで良かった」「心強い存在として一緒に歩いてくれる」本との出会いについて語っていただきました。



「読んでみたい」と思った本にブックカバーで投票(書/都立調布北高等学校 書道部)
(左)チャンプ本の行方を左右する1票
(右)ブックカバーの裏表紙にデザインされた書



決勝までの道のり 予選、準決勝 ダイジェスト



予選 佐藤 未織さん 都立東高等学校2年
『野良犬の値段』百田 尚樹 著(幻冬舎)
おすすめポイント 身代金ビジネスって親子だったり会社の社長だったりお金を出してまで取り戻したいと思わせる人物じゃないとダメなのに、人質は身よりのないホームレスなんです。



予選 飯塚 魁さん 都立国立高等学校2年
『君が夏を走らせる』瀬尾 まいこ 著(新潮社)
おすすめポイント これが夏休みの話で、夏休みが終わるとこの話も終わるというのは分かっているんですけど、もっと、ずっと大田と鈴香ちゃんの毎日を見ていたい。そんな気持ちになります。



予選 藤原 夕奈さん 都立白鷗高等学校1年
『みんな蛍を殺したかった』木爾 チレン 著(二見書房)
おすすめポイント 読んでいる間すごく苦しいんです。お腹の奥のほうにモジャモジャとした黒い重いものがずっと詰まって。でも、ラストシーンを読んだ瞬間にそれが洗い落とされます。



予選 原田 豊さん 都立淵江高等学校3年
『転生したらスライムだった件』伏瀬 著(マイクロマガジン社)
おすすめポイント 生まれ変わったらスライムになりたいっていう人、いたら手を挙げてほしいんですけど、……本が苦手というより嫌いな僕が、続きが気になって止まらなかった本です。



予選 成田 葉早さん 跡見学園高等学校1年
『僕と君の365日』優衣 羽 著(ポプラ社)
おすすめポイント 私、恋愛小説をよく読んでんですけど、男子目線で書かれているのはホント珍しくて、女子校育ちで男子のことが分からなかった私なのに、少しだけ分かった気がしました。



予選 間橋 晴人さん 都立三鷹中等教育学校 後期4年
『満願』米澤 穂信 著(新潮社)
おすすめポイント 見事な伏線回収とか、魅力的なキャラクターとか、衝撃のラストとか、そういう定番のミステリーとは違って、ただ起きたことがそのまま書かれています。「人間の闇」です。



準決勝 吉田 葵さん 豊島学院高等学校2年
『残像に口紅を』筒井 康隆 著(中央公論新社)
おすすめポイント この物語では「あ」という言葉が消えたとすると、そのもの自体が世界から消されます。「あ」は私の名前にも含まれているので私も消されてしまいます。悲しいですね。



準決勝 加古 宜寛さん 都立大江戸高等学校3年
『24ガールズ イン 7デイズ』アレックス ブラッドリー 著(理論社)
おすすめポイント 「高校生なんだから恋愛経験くらいあるよ」という人もいるでしょう。でも、みんながみんなという訳ではありません。青春とは無縁の「さえない男子」が主人公の話です。

決勝 激しい戦いを勝ち抜き最後まで残った6人が沖永記念ホールの大舞台に！



チャンプ本
樽本 咲月さん 中央大学高等学校3年
『オーデュボンへの祈り』伊坂 幸太郎 著(新潮社)
おすすめポイント かかしの優午(ゆうご)は未来が見えるはずなのに、どうして自分の死を予知することができなかったのでしょうか？ 予想を裏切り期待を裏切らない小説です。



準チャンプ本
古山 拓実さん 都立向丘高等学校2年
『ボトルネック』米澤 穂信 著(新潮社)
おすすめポイント この世界にとって自分は無価値な人間だと分かっただけで済んだら皆さんはどうしますか？ これは、世界から不要な人間だと知らされた少年の苦悩と葛藤の物語です。



駒野目 悠轟さん 帝京八王子高等学校2年
『魔球』東野 圭吾 著(講談社)
おすすめポイント 犯人は愛犬を先に殺して、愛犬の血が付いた刃物で北岡を殺したことになります。おかしくないですか？ 自分だったら犬より先に人を殺します。



唐鵬さん 都立大崎高等学校2年
『脱北航路』月村了衛 著(幻冬舎)
おすすめポイント 難しい本、分厚い本が苦手な人も安心して下さい。中国人の私でも4時間で読めたエンタメ小説です。友情も愛情もミステリーもこの中にあります。



片貝 千里さん 芝浦工業大学附属中学高等学校3年
『独裁者たちの人を動かす技術』真山 知幸 著(ずばる舎)
おすすめポイント 独裁者はアピール上手だと僕は思いました。イメージ戦略です。良い商品なら必ず売れるとは限らない。存在が認知されないと商品は売れません。



石嶋 環さん 都立第五商業高等学校3年
『十字架』重松 清 著(講談社)
おすすめポイント 人を傷つける言葉には2種類。一つはナイフのように刺す言葉、もう一つは十字架を背負わせる言葉。「どうして親友なのに見殺しにしたんだ」